性能試験

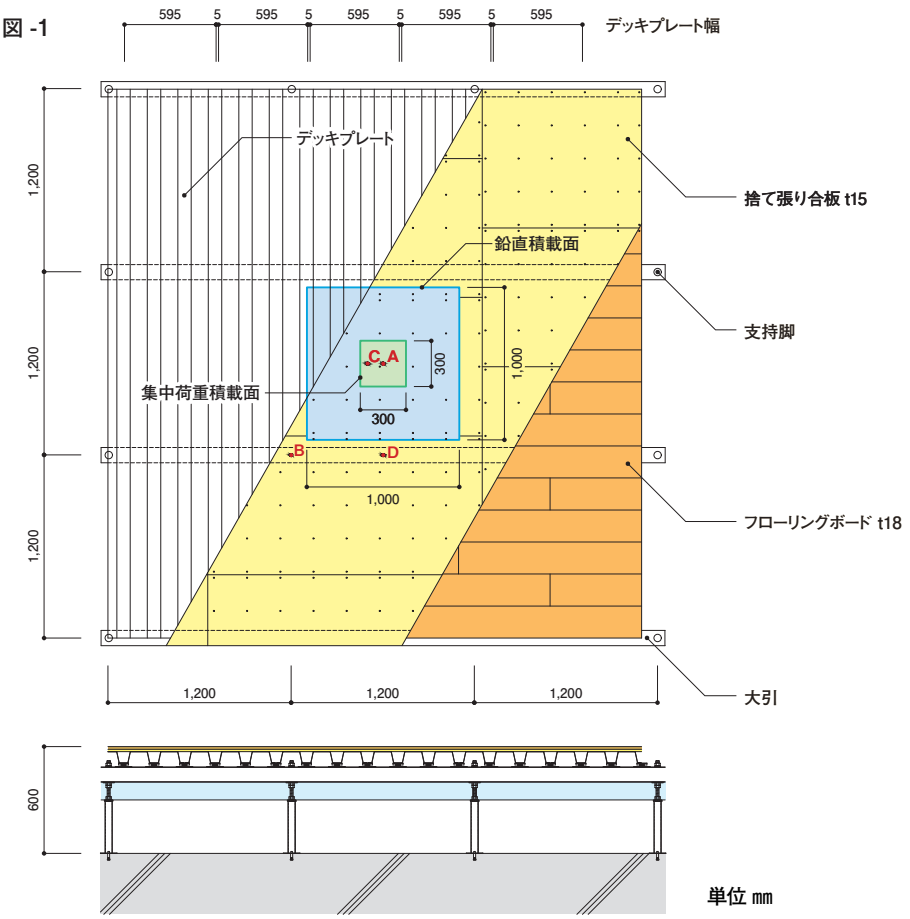
○試験方法
JIS A 6519 体育館用鋼製床下地構成材試験方法

○試験機関
一般財団法人 建材試験センター

○試験体
図 -1 の試験体

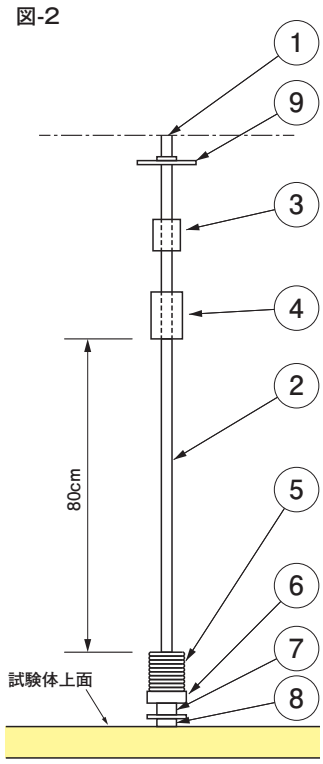
測定点：A、B、C、D

図 -1



○床の弾力性測定装置

図-2



質量 5Kg のおもりを 80cm の高さから自由落下させ、試験体上部のゴムバネを介して、人間がジャンプし着地したときと同じ荷重を与えて、その時の人間の持っているエネルギーを吸収する「緩衝作用」と運動動作時に適度のはずみを与える「反発作用」および「振動の減衰作用」の 3 つの要素を複合し、その時の動的変形性状を測定する装置（図 -2）により行います。測足点は、図 -1 の中央 ABCD 各点

番 号	名　称
1	変位測定位置
2	重錘誘導管（直径27㎜）
3	電磁石
4	おもり（5kg）
5	ゴムばね（外径80㎜、内径30㎜、厚さ100㎜ ショアA硬度10）
6	受け板（直径100㎜）
7	荷重変換器
8	荷重板（直径50㎜）
9	支持板

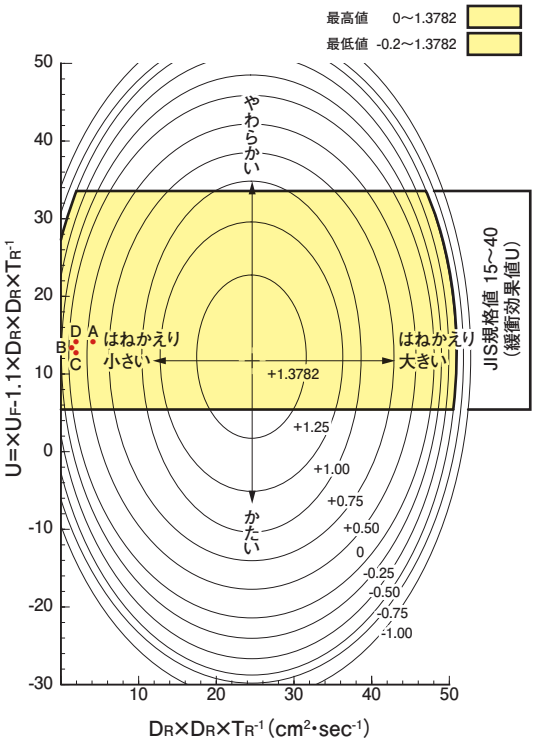



図 -3 弾力性の評価値と物理量の関係